

平成 26 年度
市内のバス交通に関するアンケート

調査の概要

1 調査の目的

今後の市内の移動手段の確保について検討を行うための基礎データの収集

2 調査期間

平成 27 年 1 月 28 日～平成 27 年 2 月 20 日まで

3 調査の方法

- (1) 調査地域：守谷市内全域
- (2) 調査方法：郵送による配布・回収，無記名式
- (3) 調査対象者：市内在住の 18 歳以上の男女 3,000 人

4 調査結果

- (1) 標本（発送数）：3,000 件
- (2) 有効回答数：1,161 件
- (3) 有効回収率：38.7%

5 回答者属性

- (1) 男女別

	回答数	構成比
男性	459	39.5%
女性	693	59.7%
無回答	9	0.8%
合計	1,161	100.0%

(2) 年齢別

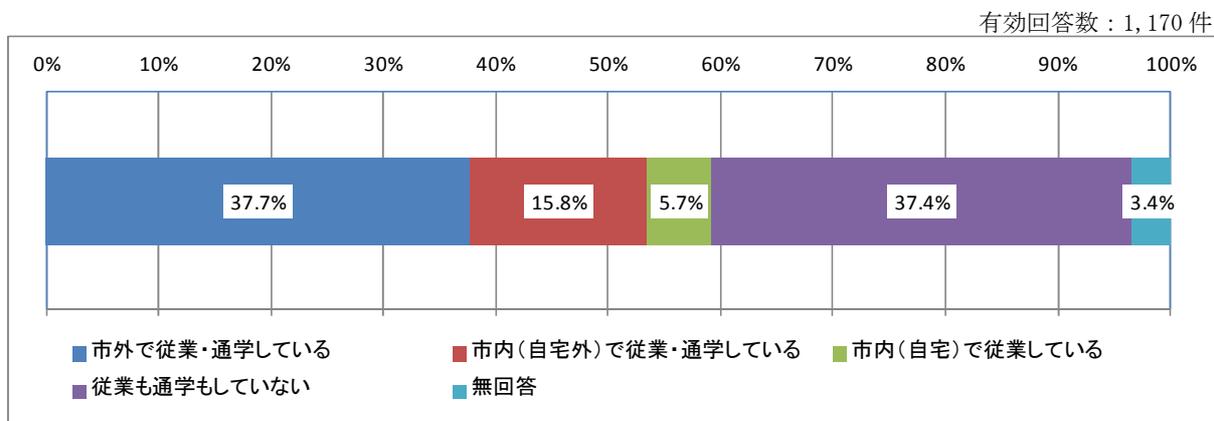
	回答数	構成比
10歳代	16	1.4%
20歳代	57	4.9%
30歳代	216	18.6%
40歳代	224	19.3%
50歳代	176	15.1%
60～64歳	143	12.3%
65～69歳	139	12.0%
70歳以上	180	15.5%
無回答	10	0.9%
合計	1,161	100.0%

(3) 居住地区

	回答数	構成比
守谷	396	34.1%
高野	16	1.4%
大野	38	3.3%
大井沢	58	5.0%
北守谷	287	24.7%
みずき野	117	10.1%
南守谷	194	16.7%
美園	47	4.0%
無回答	8	0.7%
合計	1,161	100.0%

問1 普段の暮らし（お仕事等の状況）について

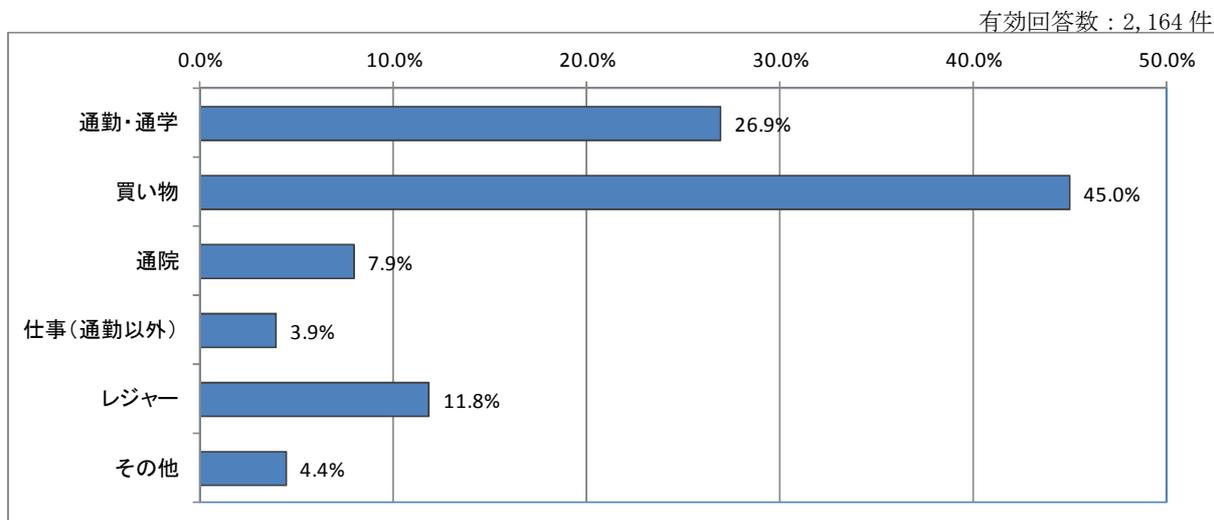
- ・回答者の4割弱の方が市外で従業・通学しています。従業も通学もしていない方がほぼ同数で続き、市内で従業・通学している方は2割強となっています。



問2 頻度の高い外出目的2つとその手段

【外出目的】

- ・頻度の高い外出目的は、半数近くの方が「買い物」を選択しています。これ以外では、「通勤・通学」が1/4を占め、「レジャー」、「通院」と続きます。

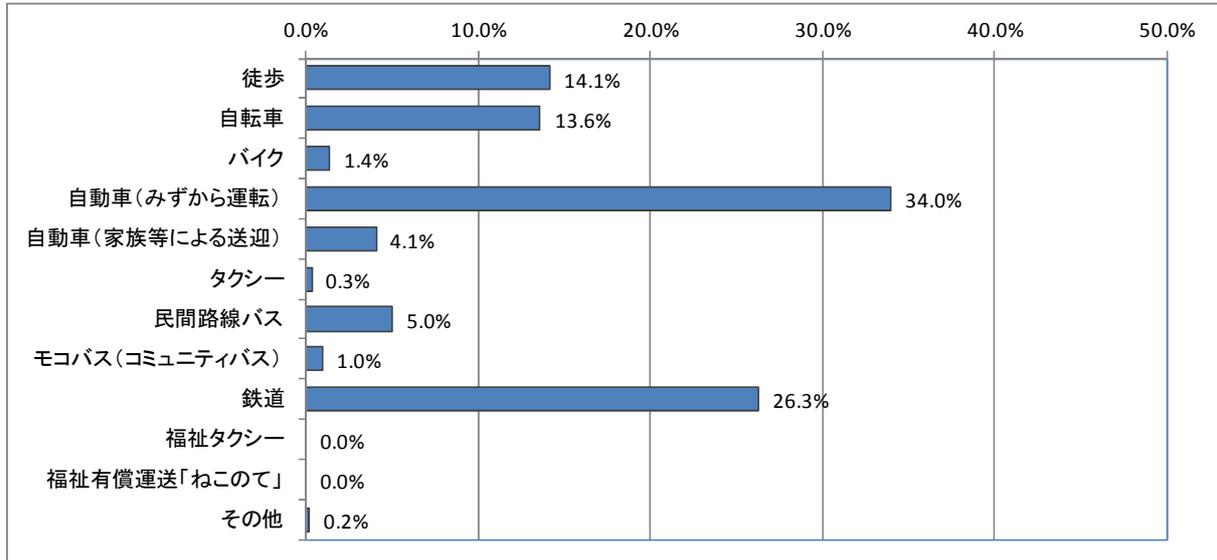


【外出手段】

①通勤・通学

- ・通勤・通学では、「自動車」と「鉄道」を利用する方が6割強を占めています。

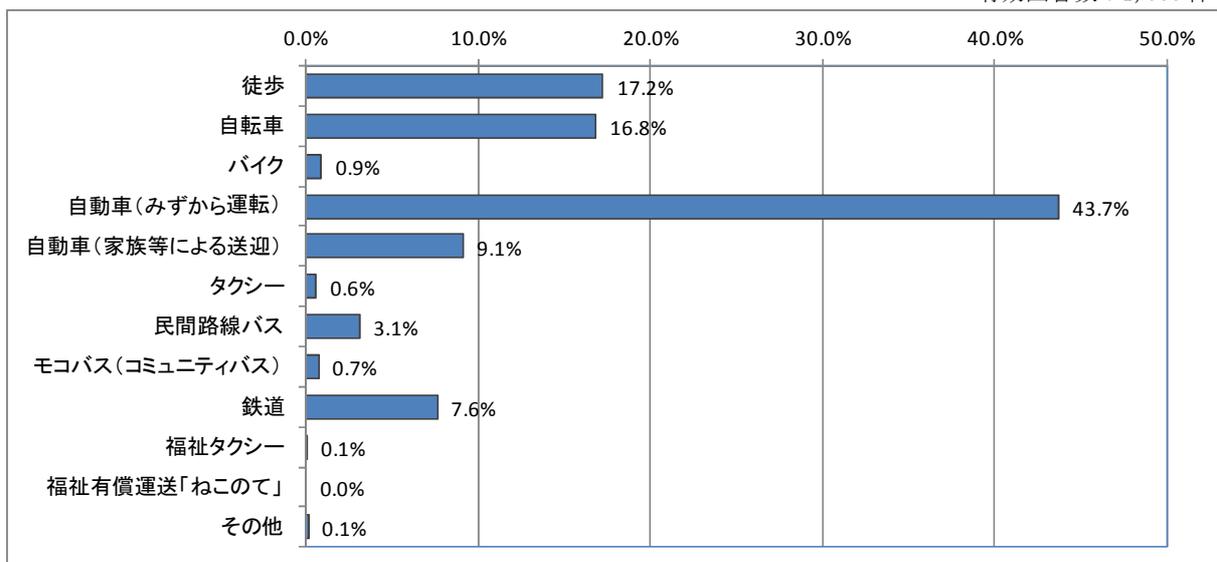
有効回答数：933件



②買い物

- ・買い物では、「自動車」、「徒歩」、「自転車」を選択した方で、回答の9割弱を占めます。
- ・「①通勤・通学」と異なり、鉄道の利用者は1割弱であり、鉄道を利用して買い物に出かける方は比較的少ないようです。
- ・昨年度のアンケートと比較すると、自動車を使用する方の割合が約14%増えている一方、鉄道を利用する方の割合が約9%減少しています。

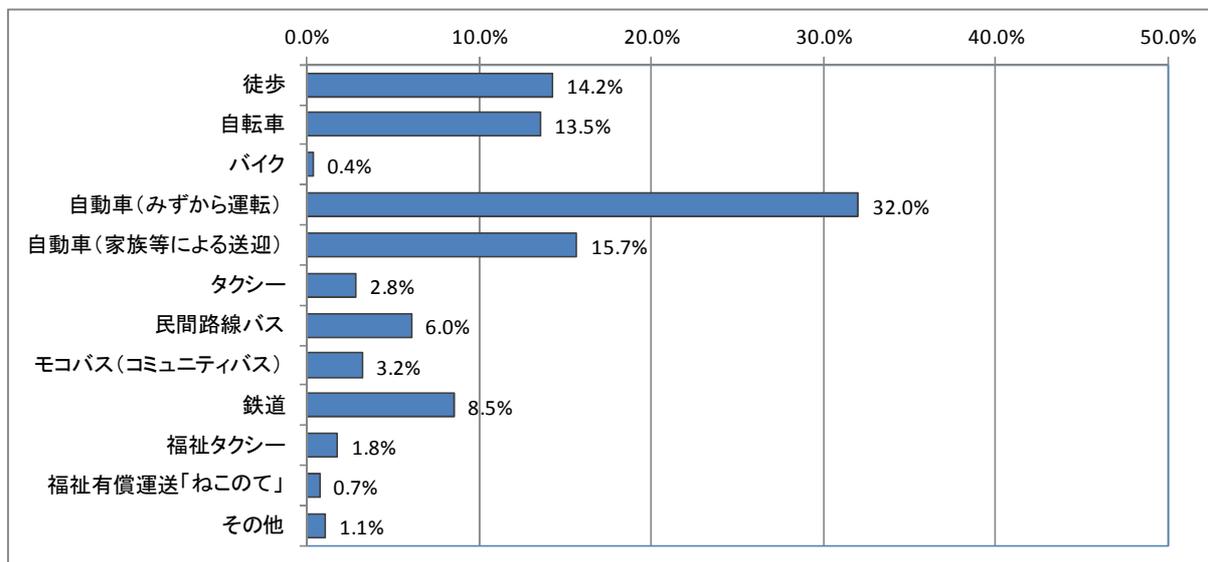
有効回答数：1,666件



③通院

- ・通院では、その他の外出目的と比べて、回答が多岐に渡っています。
- ・昨年度のアンケートと比較すると、「②買い物」と同様に、自動車を使用する方の割合が約11%増えている一方、鉄道を利用する方の割合が約5%減少しています。

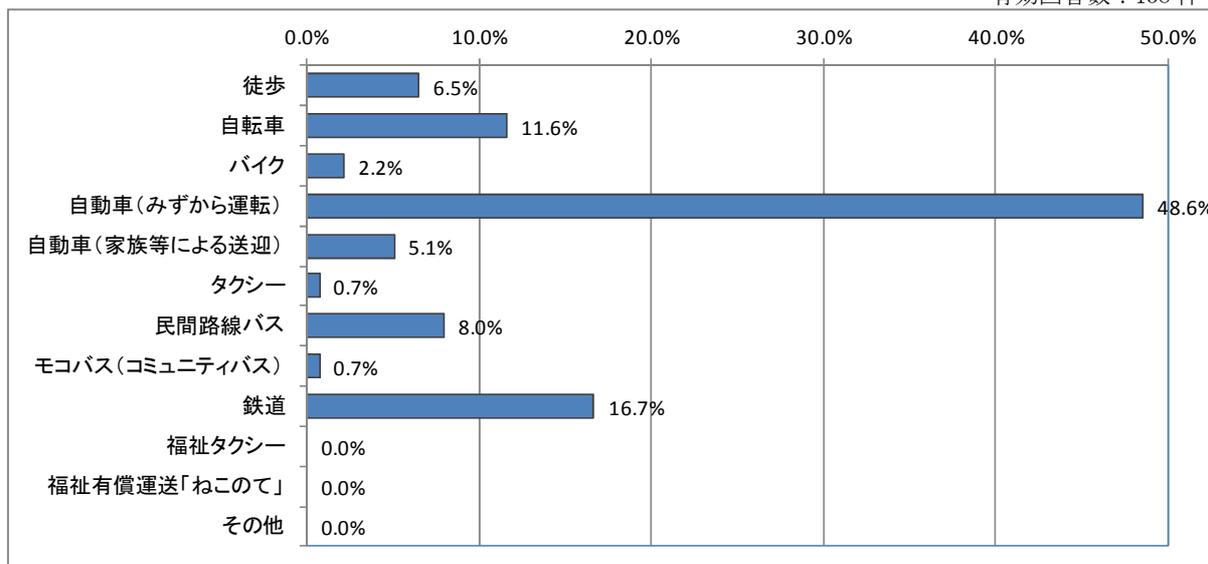
有効回答数：281件



④仕事（通勤以外）

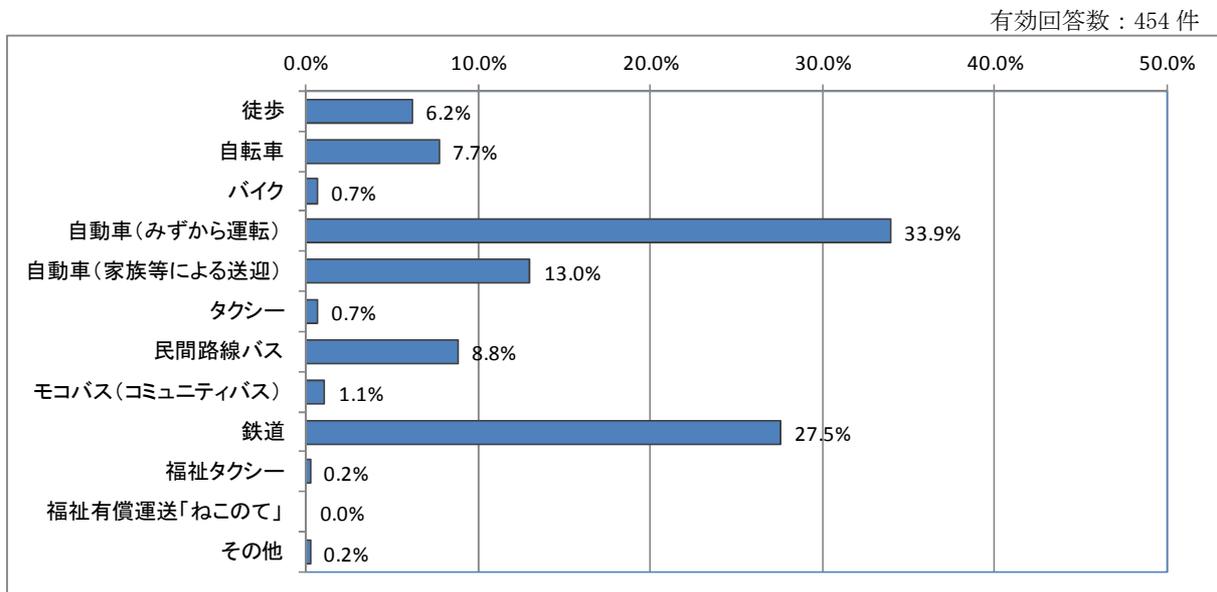
- ・仕事（通勤以外）では、「自動車（みずから運転）」が約半数を占めています。
- ・「民間路線バス」の比率が、その他の外出目的と比べて、比較的多い状況です。
- ・昨年度のアンケートと比較すると、自動車を使用する方の割合が約12%増えている一方、徒歩・自転車を利用する方の割合が約14%減少しています。

有効回答数：138件



⑤レジャー

- ・レジャーでは、「自動車」が5割弱、「鉄道」が3割弱と続きます。
- ・昨年度のアンケートと比較すると、鉄道を使用する方の割合が約12%増えています。



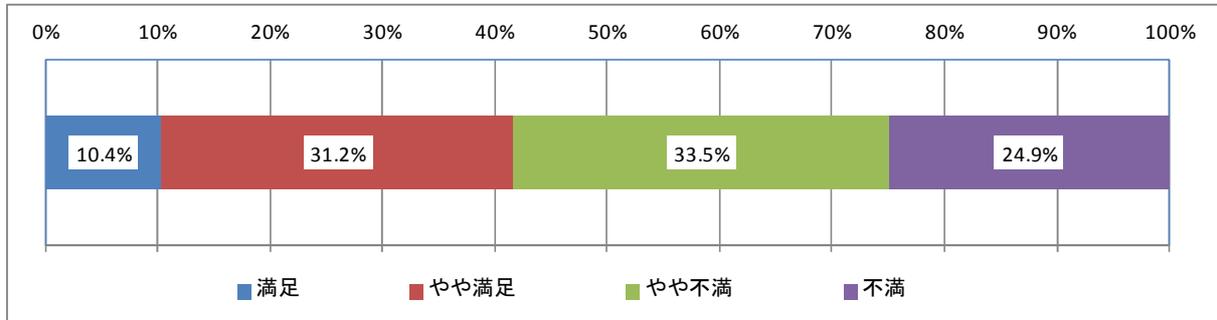
- ◆どの外出目的においても、バスを利用される方は少ない状況です。
- ◆昨年度のアンケートと比較すると、全体的に自動車を利用して外出する方が増加しています。
- ◆通勤・通学やレジャーで外出するときに、鉄道を利用する方が多くなっています。

問3

【問2で民間路線バス・モコバス（コミュニティバス）を選択した方のみ回答】
バスの運行サービスの満足度

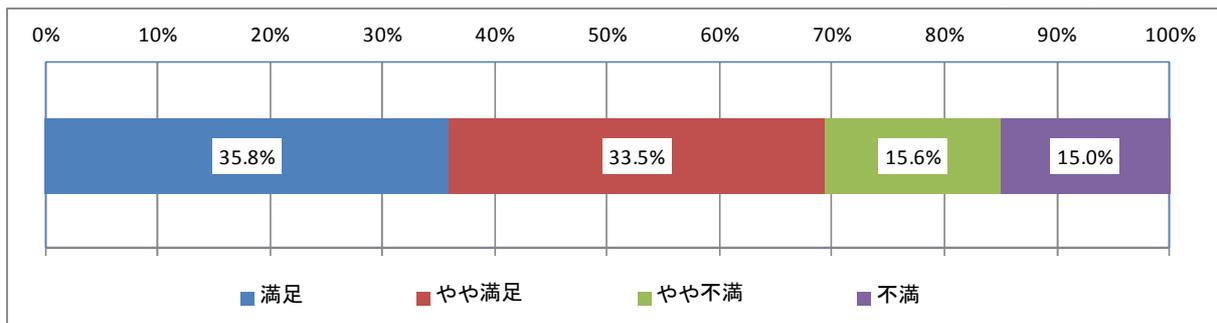
①運行頻度（便数）

有効回答数：173件



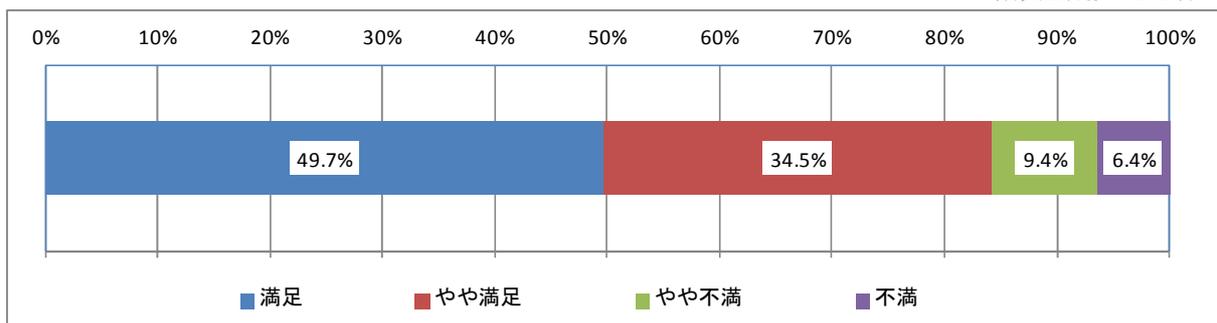
②ルート

有効回答数：173件



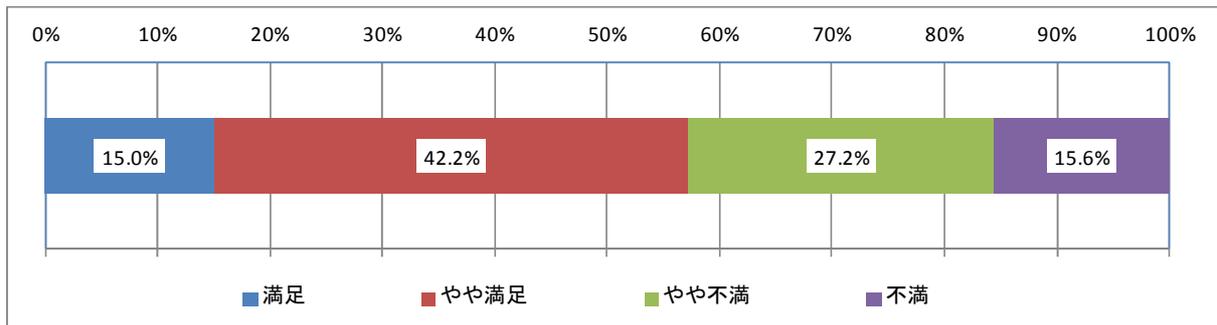
③バス停位置

有効回答数：171件



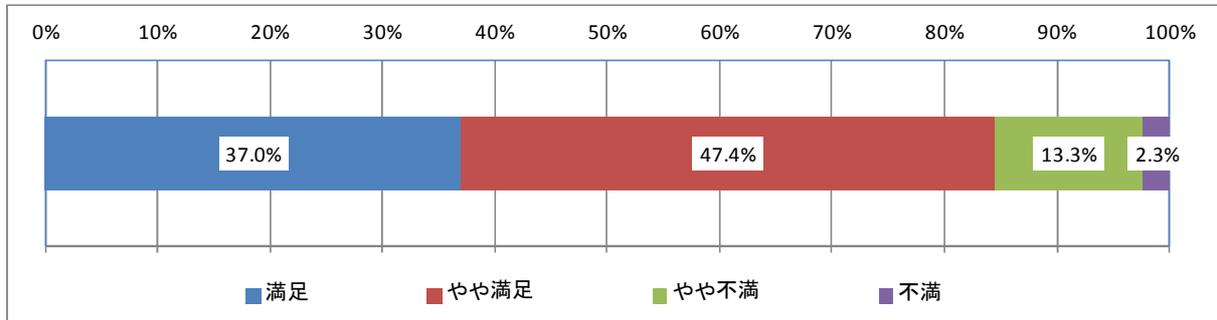
④バス停環境（ベンチ等）

有効回答数：173件



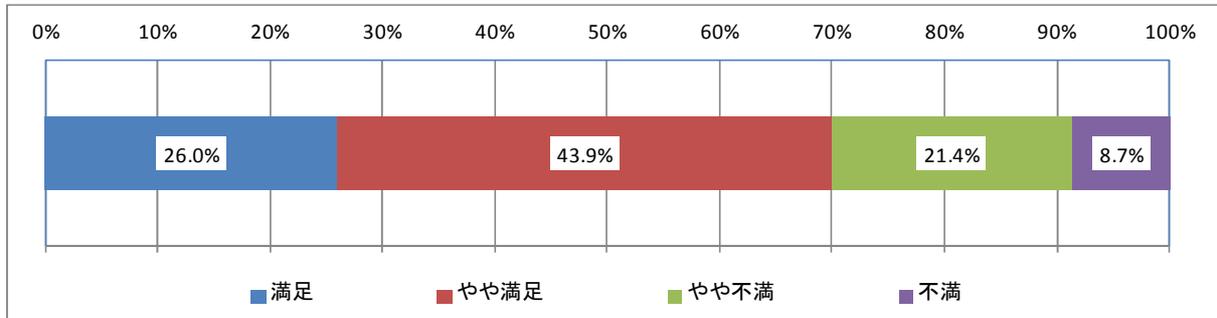
⑤乗降しやすさ（段差）

有効回答数：173件



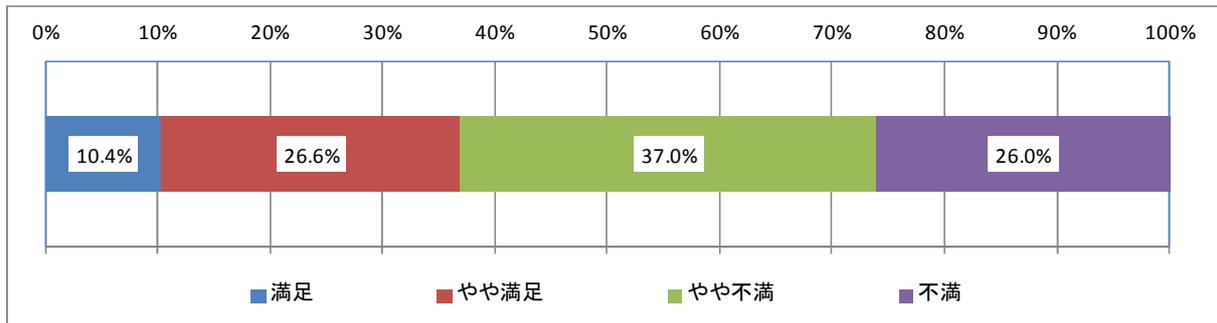
⑥定時性（遅れ）

有効回答数：173件



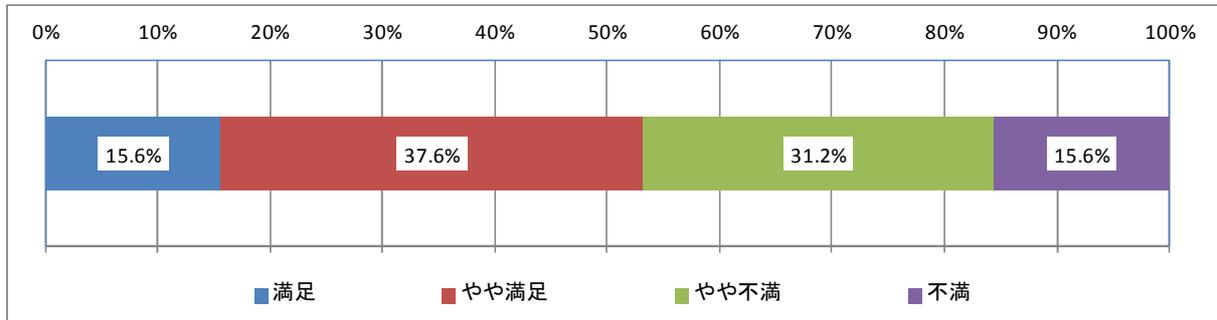
⑦ダイヤの設定

有効回答数：173件



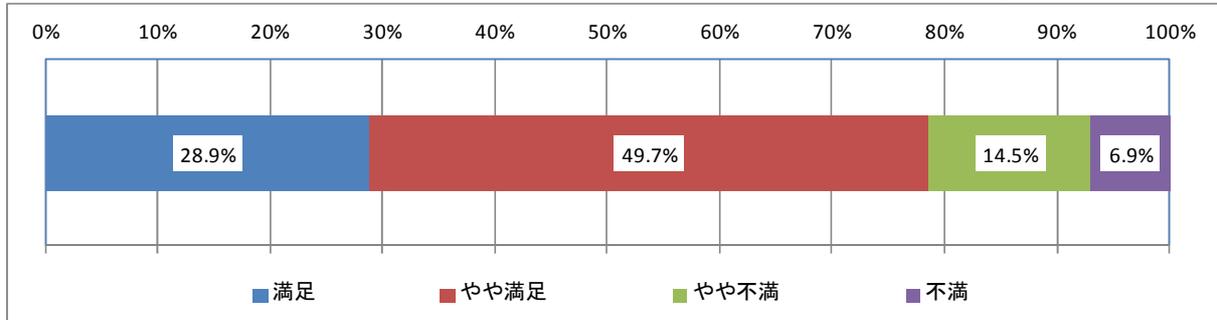
⑧鉄道との接続性

有効回答数：173件



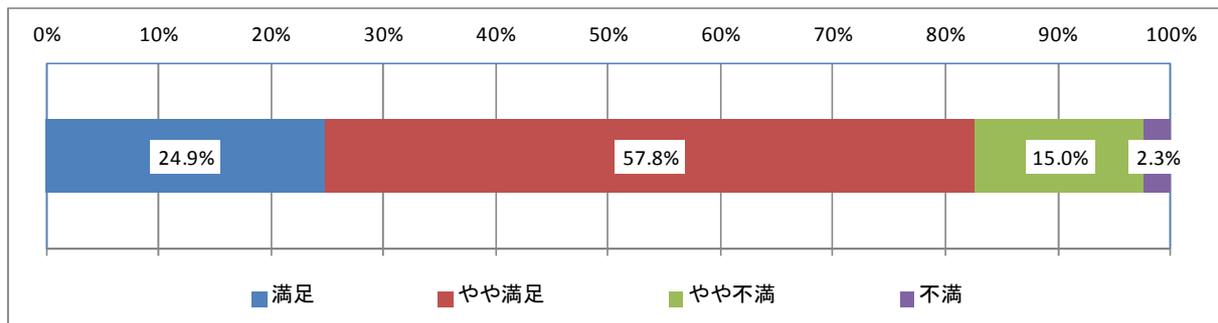
⑨運転手の対応

有効回答数：173件



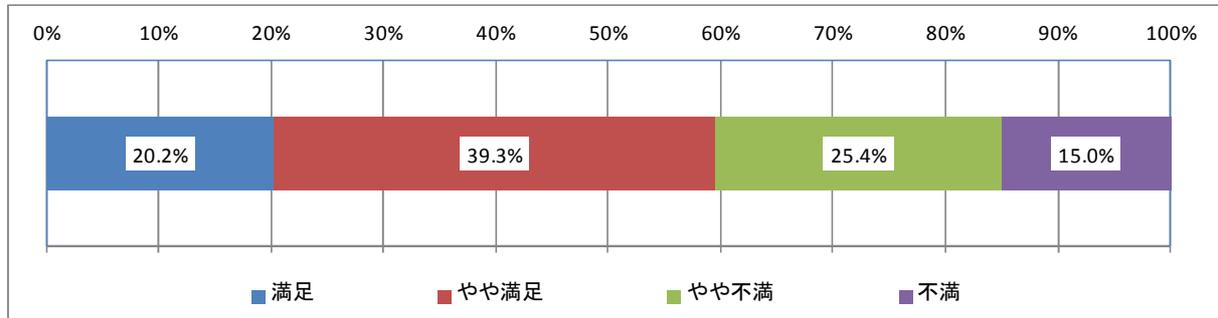
⑩車内の快適性（乗り心地，清潔さ）

有効回答数：173 件



⑪運賃設定

有効回答数：173 件

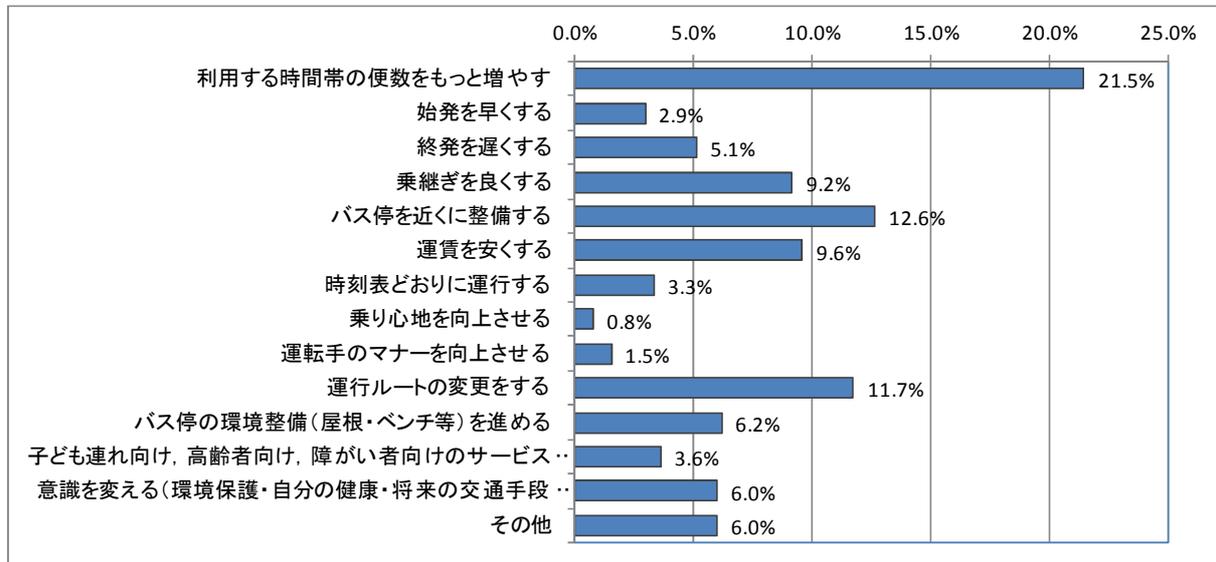


- ◆ 「運行頻度（便数）」や「ダイヤの設定」に不満を持たれている方が多いです。
- ◆ 「バス停環境（ベンチ等）」，「鉄道との接続性」，「運賃設定」にも，不満を持たれている方が比較的多い状況です。
- ◆ 「乗降しやすさ（段差）」や「車内の快適性（乗り心地，清潔さ）」といったバスのハード面については，比較的満足いただいています。
- ◆ 昨年度のアンケート結果と比べ，満足度に大きな変化はありません。

**問4 【問2で「路線バス」「モコバス（コミュニティバス）」を選択しなかった方のみ回答】
あなた自身がもっとバスを利用するためには何が必要か**

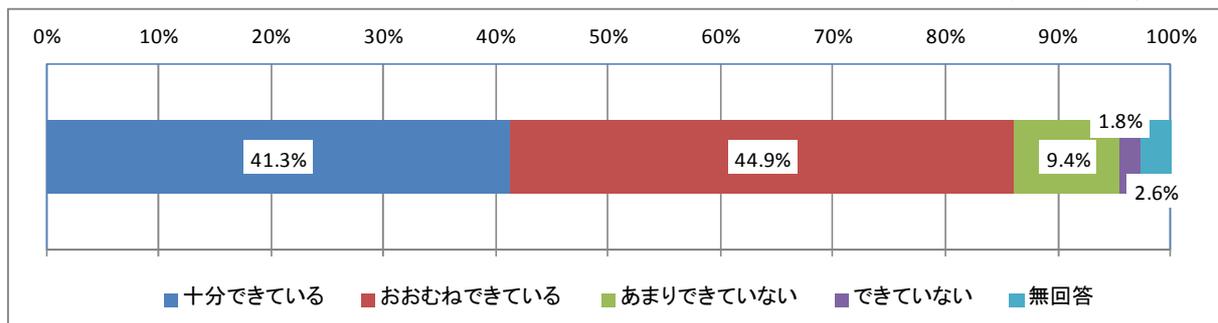
- ・バスを利用していない方には、「利用する時間帯の便数をもっと増やす」ことが一番求められています。
- ・昨年度のアンケート結果と比べ、回答に大きな変化はありません。

有効回答数：2,106件



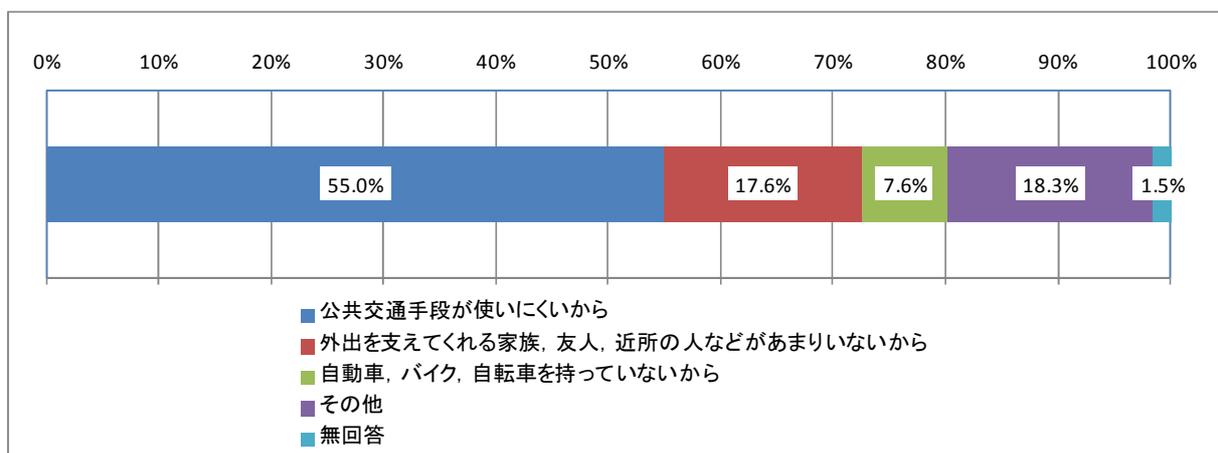
問5-1 自分が「したい」と思う外出ができていますか

有効回答数：1,170件



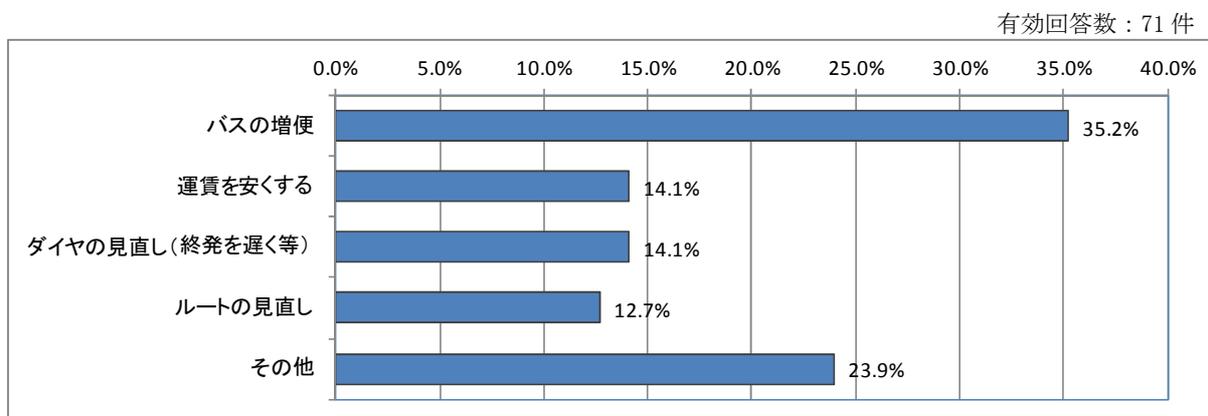
問5-2 【問5-1で「あまりできていない」又は「できていない」と回答した方のみ回答】
その理由

有効回答数：131件



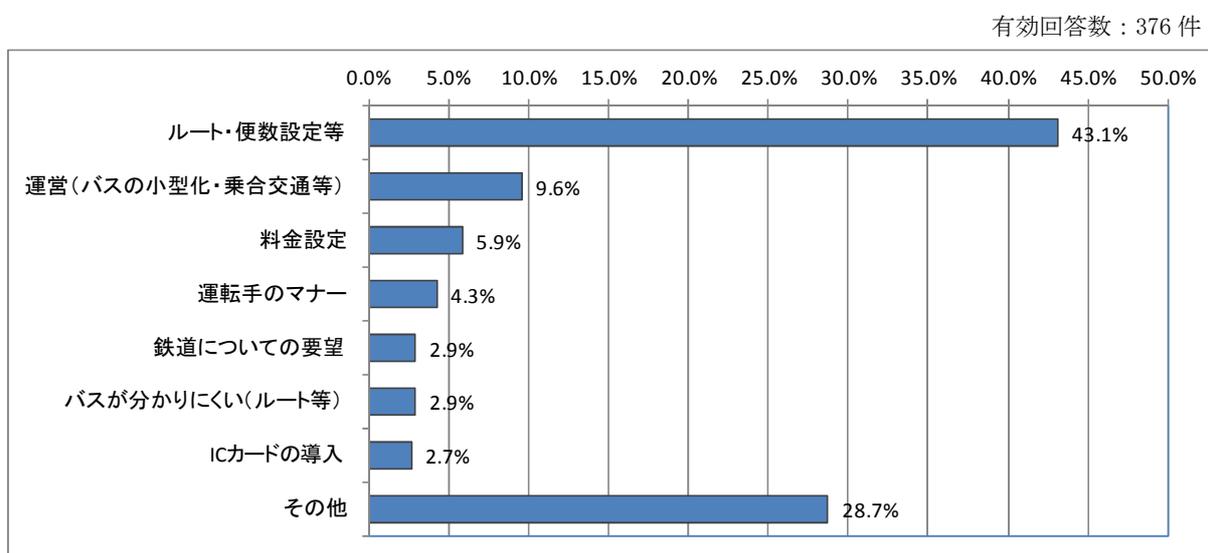
- ◆9割弱の方が、「したい」と思う外出ができています。
- ◆外出ができていない方の理由として、「公共交通手段が使いにくいから」が半数以上を占めています。
- ◆ただ、昨年度アンケートと比較すると、その割合は約12%減少しています。

問5-3 【問5-2で「公共交通手段が使いにくいから」と回答した方のみ記述】
 どうすれば公共交通手段が使いやすくなるか



◆公共交通手段が使いにくいと考えている方のうち、約1/3の方がバスの増便を求めています。

公共交通に関する自由意見



◆ルート・便数設定といった利便性を求める意見(要望)が多く寄せられています。